

平成29年度 街美化アダプト活動参加団体アンケート 集計結果

< 調査の対象 >

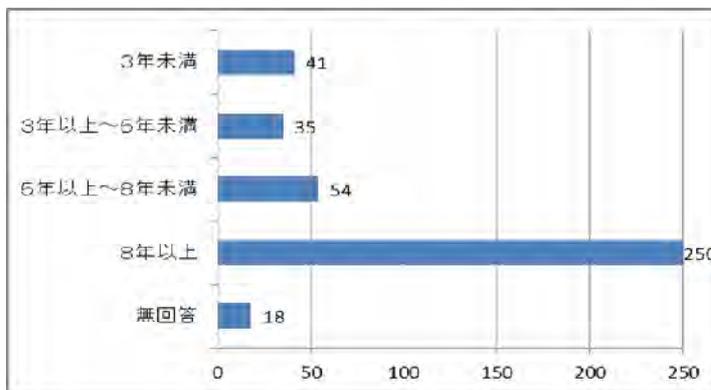
- ・調査の対象：街美化アダプト活動を実施している全団体。
- ・調査の方法：平成30年2月にアンケート用紙を団体あてに送付し、返却された回答を集計。

・アンケート回収率：

回収数	398	配布数	494	回収率	80.6%
-----	-----	-----	-----	-----	-------

問1 街美化アダプト活動に参加している期間。

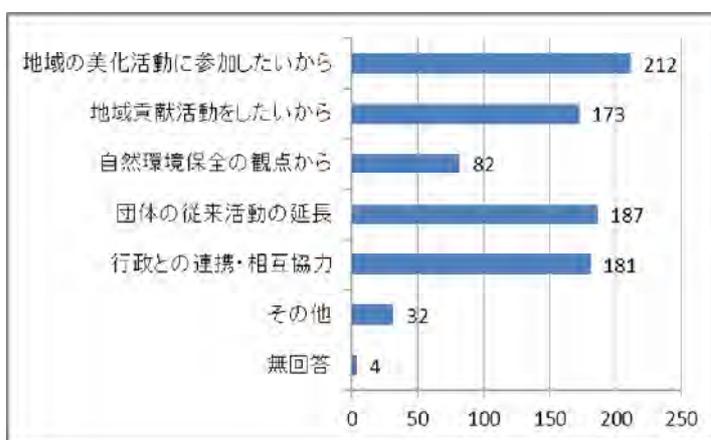
	回答数	割合
3年未満	41	10.3%
3年以上～5年未満	35	8.8%
5年以上～8年未満	54	13.6%
8年以上	250	62.8%
無回答	18	4.5%
合計	398	100.0%



・「8年以上」が最も多く、長年活動に参加している団体が全体の62.8%で、「5年以上8年未満」が次いで13.6%となっており、長年継続して活動している団体が多いことがうかがえる。

問2 街美化アダプトに参加している理由。(複数回答可)

	回答数	割合
地域の美化活動に参加したいから	212	53.3%
地域貢献活動をしたいから	173	43.5%
自然環境保全の観点から	82	20.6%
団体の従来活動の延長	187	47.0%
行政との連携・相互協力	181	45.5%
その他	32	8.0%
無回答	4	1.0%
合計	871	



その他の主な意見

- ・子どもが安全に遊べる公園づくりのため。
- ・地域の親睦、協力、活性化のため。
- ・健康づくりのため。
- ・住民のコミュニケーションをとりたいから。

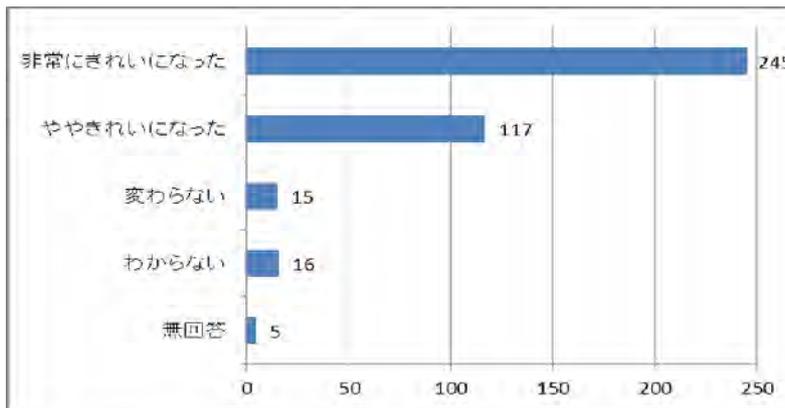
・「地域の美化活動に参加したいから」が53.3%と、過半数の団体が地域における活動に対し、積極的な考えを持っていることがうかがえる。

・「行政との連携・相互協力」について、前回調査では40.8%だったのに対し、今回は45.5%と4.7ポイント上昇しており、前回よりもより多くの団体の中で、行政と協働する意識が高まっていることがうかがえる。

問3 街美化アダプト活動の実施による成果について

(1) 街美化アダプト制度導入後の導入箇所の美化効果について

	回答数	割合
非常にきれいになった	245	61.6%
ややきれいになった	117	29.4%
変わらない	15	3.8%
わからない	16	4.0%
無回答	5	1.3%
合計	398	100.0%

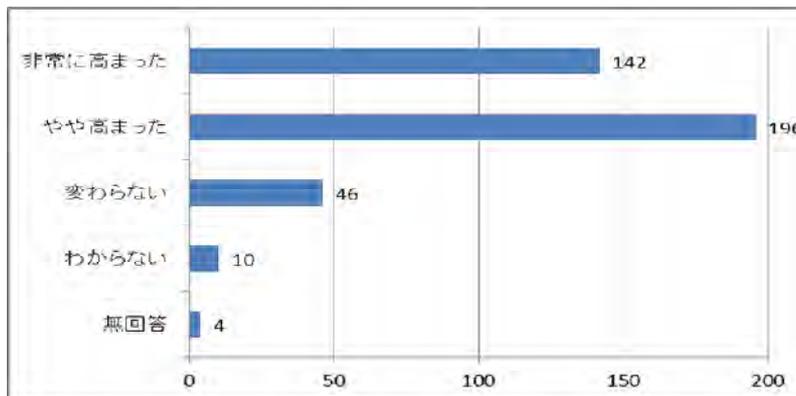


・「非常にきれいになった」が 61.6%、「ややきれいになった」が 29.4%、合わせて 91%がアダプト制度の導入箇所の美化効果を肯定的に認めている。

(2) 街美化アダプト活動による美意識効果について

ア 団体メンバーの「街美化」への関心の高まり

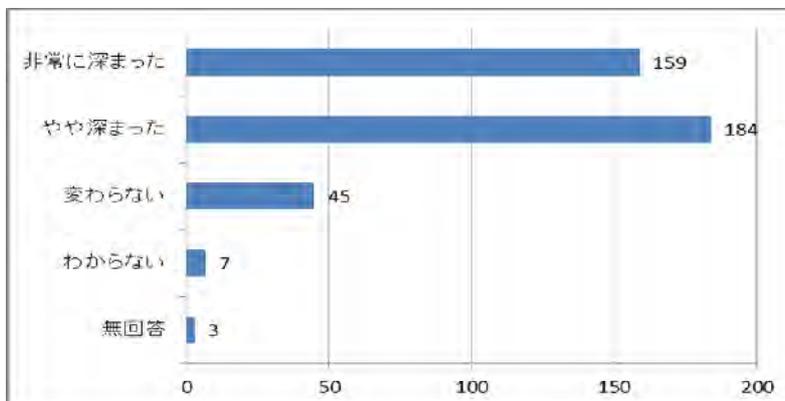
	回答数	割合
非常に高まった	142	35.7%
やや高まった	196	49.2%
変わらない	46	11.6%
わからない	10	2.5%
無回答	4	1.0%
合計	398	100.0%



・「非常に高まった」が 35.7%、「やや高まった」が 49.2%、合わせて 84.9%が「街美化」への関心が高まったと認識しており、前回と比較して、「やや高まった」が 4.9%減ったのに対し、「非常に高まった」が 7.6%増加しており、実際に美化活動に携わることによって、「街美化」の意識がより根付いたといえる。

イ 団体メンバーの連帯感の深まり

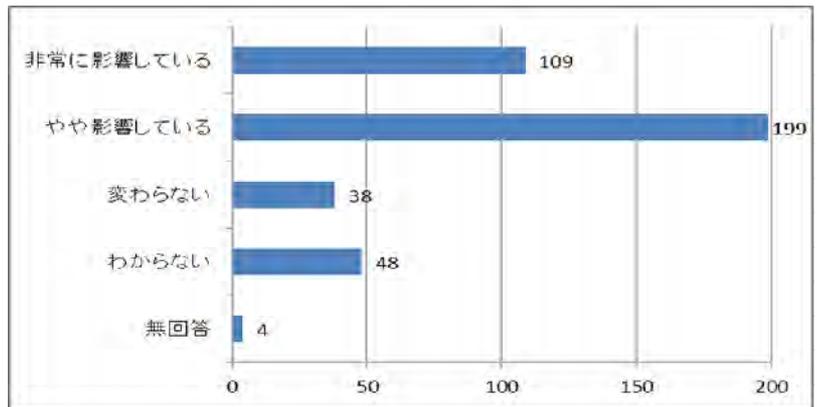
	回答数	割合
非常に深まった	159	39.9%
やや深まった	184	46.2%
変わらない	45	11.3%
わからない	7	1.8%
無回答	3	0.8%
合計	398	100.0%



・「非常に深まった」が 39.9%、「やや深まった」が 46.2%で、アダプト活動が単なる美化活動にとどまらず、団体メンバー間の連帯意識に影響を与えていることがうかがえる。

ウ 団体の活動の導入エリアの住民の意識に影響

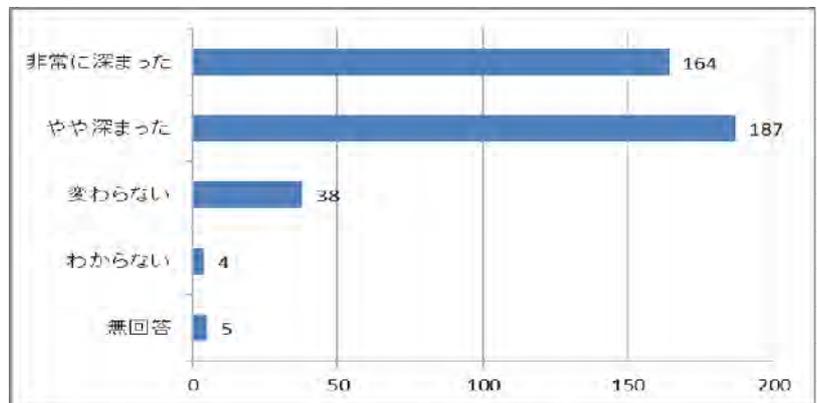
	回答数	割合
非常に影響している	109	27.4%
やや影響している	199	50.0%
変わらない	38	9.5%
わからない	48	12.1%
無回答	4	1.0%
合計	398	100.0%



・「非常に影響している」と「やや影響している」を合わせて77.4%と、美化活動を行うことが、地域住民の意識に影響を与え、導入箇所の美化に相乗効果を上げていると推測される。

エ 活動場所や地域への愛着の深まり

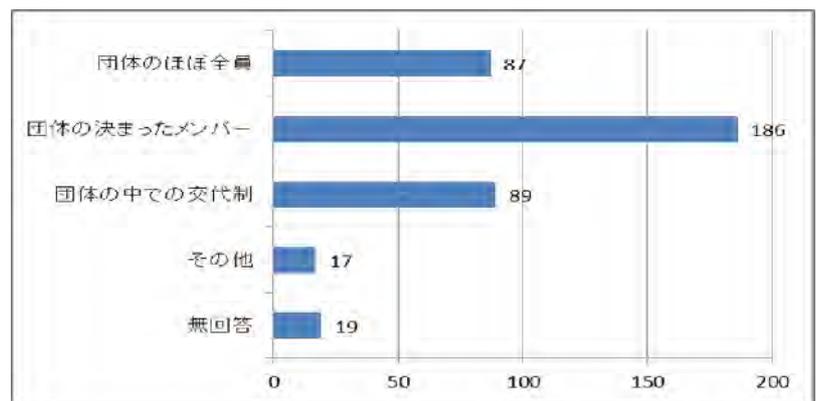
	回答数	割合
非常に深まった	164	41.2%
やや深まった	187	47.0%
変わらない	38	9.5%
わからない	4	1.0%
無回答	5	1.3%
合計	398	100.0%



・「非常に深まった」と「やや深まった」を合わせて88.2%と、アダプト活動により活動箇所への里親意識が醸成されていることがうかがえる。

問4 活動参加者は団体のどのような人か

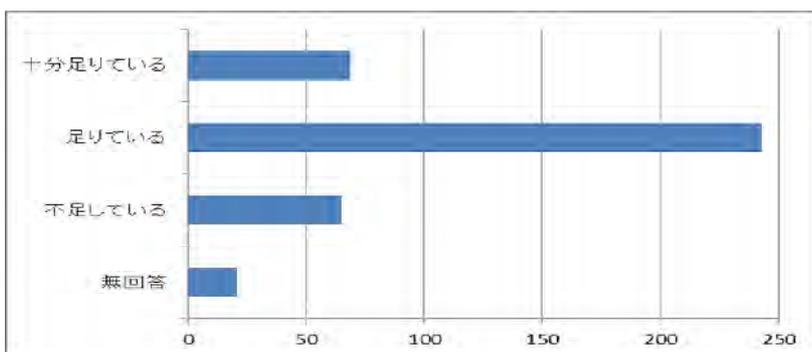
	回答数	割合
団体のほぼ全員	87	21.9%
団体の決まったメンバー	186	46.7%
団体の中での交代制	89	22.4%
その他	17	4.3%
無回答	19	4.8%
合計	398	100.0%



・「団体の決まったメンバー」が46.7%と、最も多い割合となっており、次いで「団体の中での交代制」が22.4%となっている。制度本来の目的から言えば、決まったメンバーで活動するよりも、交代制で活動するといったように、できるだけ多くの人が活動に参加することが望まれる。

問5 活動に参加する人員は足りているか

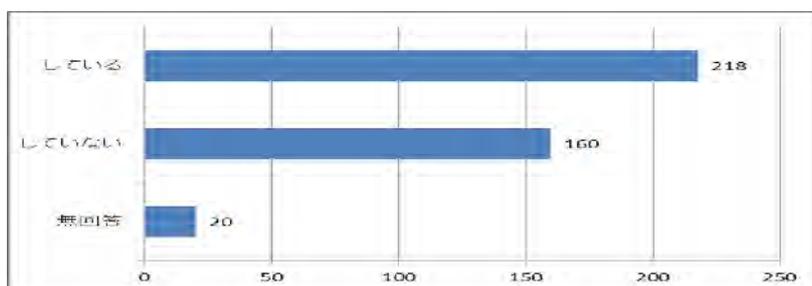
	回答数	割合
十分足りている	69	17.3%
足りている	243	61.1%
不足している	65	16.3%
無回答	21	5.3%
合計	398	100.0%



・「十分足りている」と「足りている」を合わせて78.4%と、活動参加者は足りているとの回答が多数を占めている。

問6 活動参加者を増やすための工夫の実施

	回答数	割合
している	218	54.8%
していない	160	40.2%
無回答	20	5.0%
合計	398	100.0%



・工夫をしている団体が54.8%と、過半数の団体が、参加者を募るために何らかの工夫をしていることがうかがえ、それが問5のような結果に少なからず影響しているのではないかと推測される。

問7 問6で「している」と答えた団体の具体的に実施している工夫の内容

主な内容

活動や活動日の周知に関するもの（文書等で実施しているもの）

- ・自治会掲示板や公民館の掲示板を利用し、周知している。
- ・回覧版、チラシのポスティングで活動日を周知している。
- ・きれいになった公園や花壇の写真の回覧をしている。
- ・LINE やメールで活動日のお知らせをしている。
- ・広報誌に作業日を載せて会員へ呼びかけを行い、地区役員には手紙で連絡を行っている。
- ・PTAにお知らせの手紙を配布している。
- ・マンション掲示板にお知らせを掲示している。
- ・パンフレットを作成し、公園付近の住宅中心に個別訪問を行っている。

活動や活動日の周知に関するもの（文書以外の方法で実施しているもの）

- ・4月初めの総会で年間日程表を配布している。
- ・役員会（毎月）で協力を呼びかけている。
- ・老人クラブ会合で呼びかけをしている。
- ・年度始めの研修会で周知を行っている。
- ・広報（アナウンス）車巡回を行っている。
- ・近隣の通行方々へ呼びかけをしている。
- ・活動日の数週間前から公園入口にのぼり旗を設置し、周知を行っている。

- ・講習会を開催して参加者の募集を行っている。
- ・市民活動サポートセンターというバンクに登録し、情報発信を行っている。

活動日の設定方法に関するもの

- ・毎月第 曜日を清掃日として設定している。
- ・各区月割（偶数月、奇数月）にて、清掃区域も指定区を設けている。
- ・年間事業計画で活動日を設定している。
- ・自治会の役員間で活動日の確認（天候による順延等）を行っている。
- ・ 月から 月までの第 曜日を全員清掃日として設定している。
- ・毎月第 曜日の午後に定例会を設定し、その日の午前中にアダプト活動を行うようにしている。
- ・自治会の統一清掃日と併せて実施している。

参加者への物品の支給に関するもの

- ・お茶等の水分を支給する。
- ・参加してくれた子どもにはお菓子とジュースを配布する。
- ・スタンプラリーを実施し、参加が多かった人には、賞品や参加賞を渡す。
- ・参加しやすいように手袋、ゴミ袋などを用意する。

活動の実施方法に関するもの

- ・団体内で班を編成し、当番制にしている。
- ・自治会月例会議で、当月及び来月の活動案内、参加人員、実地月日の報告を行っている。

アダプト活動以外の地域での交流行事などの実施に関するもの

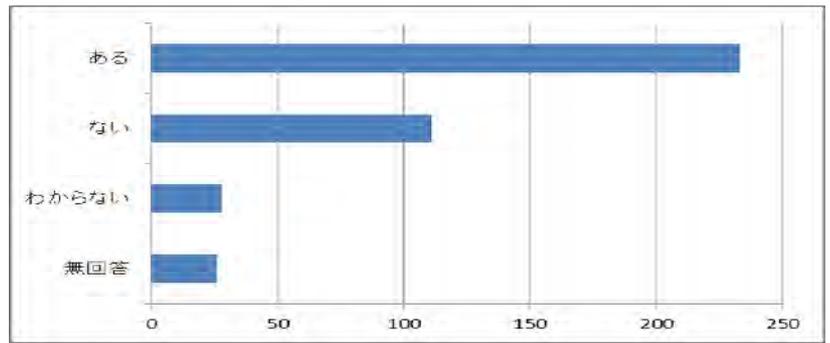
- ・年に数回、イベント（野草を食べる会、ソーメン流し、芋煮会など）を行い、地域との交流を深める中で、参加をよびかけている。
- ・協力者に対し年1回、協力者慰労食事会を実施している。
- ・清掃終了後に防災訓練を実施し、参加者の増加を図っている。
- ・作業終了後にお花見懇親会を開催した。
- ・毎月「お楽しみ会」を開催している。
- ・ゲートボールの活動と共有しており、参加者を増やすための呼びかけをしている。
- ・地元住民に声かけし、懇親会を年 回開催しており、その中で作業体験を実施している。

- ・掲示板や回覧板などにより、活動日を周知しているという意見が多かった。
- ・個別訪問や、呼びかけを行うなど、直接働きかけることによって参加者を募るための工夫をしている団体もあった。
- ・活動日当日に併せて会合やイベントを開いている団体もあり、より多くの人に参加してもらえるような取組をしているという意見もいくつか見られた。
- ・その他、アダプト活動以外に、地域住民を交えた交流会やイベントを実施している団体もあり、アダプト活動をきっかけに地域の交流につながっているようなところも見られた。
- ・上記例のように、アダプト活動が単なる美化活動として終わることなく、活動をきっかけに、地域の交流事業が活発化し、地域コミュニティの活性化が図られていくことが望まれる。

問8 団体メンバーの高齢化や若い世代の参加について

(1) メンバーの高齢化や若い世代の参加が少ない傾向にあるか

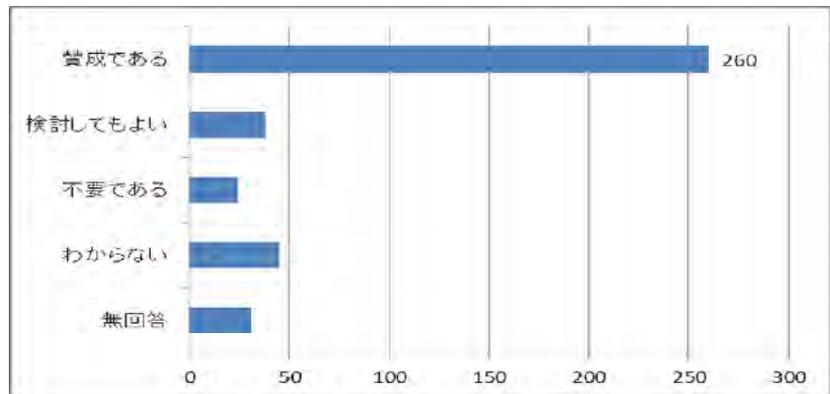
	回答数	割合
ある	233	58.5%
ない	111	27.9%
わからない	28	7.0%
無回答	26	6.5%
合計	398	100.0%



・「ある」と回答した団体が過半数を超えており、多くの団体が、メンバーの高齢化が進んでいると感じており、若い世代の参加についても課題があると考えていることがうかがえる。

(2) 若い世代が団体の活動に参加することについて賛成か

	回答数	割合
賛成である	260	65.3%
検討してもよい	38	9.5%
不要である	24	6.0%
わからない	45	11.3%
無回答	31	7.8%
合計	398	100.0%



・「賛成である」が65.3%、「検討してもよい」が9.5%と、合わせて74.8%の団体が、若い世代の参加について前向きな考えを示していることがうかがえる。

(3) 若い世代が参加することについて、どのようなことを期待しているか。

((2) で「賛成である」または「検討してもよい」と回答した団体)

主な意見

活動の担い手などに関すること

- ・地域活動の新たな担い手になってもらいたい。
- ・街の美化運動を継承してもらいたい。

地域への愛着心の向上などに関すること

- ・地域の良さを再確認して欲しい。
- ・地域活動を理解してほしい。
- ・美化意識、地域愛着心、ボランティアの意識向上。
- ・自治会への帰属意識の向上を期待している。
- ・町内の行事等に参加することを期待している。

その他、活動による意識向上に関すること

- ・日頃からの気配りが出来る意識付けを期待している。
- ・地域活動全般への参加意欲のアップを期待している。
- ・体験することによって、何か得るものがあると思うため、参加してほしい。

地域交流・世代間交流に関すること

- ・親子で参加いただき、地域の交流の場にもなればと思う。
- ・地域の一体化、連携の強化を期待している。
- ・街の美化活動を通じて、地域住民との親睦を図ってもらいたい。
- ・さまざまな年代の交流により、顔見知りが増え、地域の防犯意識の向上や災害時などの助け合いにもつながる。
- ・地域交流によって、青少年育成につながることを期待して参加を呼びかけている。
- ・若い人とのコミュニケーションがとれたら良いと思う。

その他

- ・作業能力のUP で時間短縮できる。
- ・夏の除草、秋の落葉の量が多く、高齢化のため体力的に困難になっているため、若者に参加してほしい。
- ・草刈り機等の重機をあつかってほしい。

- ・団体内での高齢化が進んでいるため、若い世代の参加を期待している意見があった。
- ・活動へ参加することで、地域への愛着心を育ててほしいという意見が多く見られた。
- ・その他、アダプト活動を通して、ゆくゆくは地域活動を担ってほしいという期待を若い世代に抱いている意見も見られ、多くの団体が若い世代に様々な期待を寄せていることがうかがえる。

(4) 若者の参加について、どのような場合であれば受け入れるか。

((2) で「賛成である」または「検討してもよい」と回答した団体)

特に条件は設けない。

- ・地域の美化活動に積極的な意志があればどなたでも受け入れたい。
- ・個人でもよいので参加してもらいたい。
- ・要望があればすぐにでも受け入れたい。

地域にゆかりのある個人・団体等。

- ・同じ自治会内の若い世代。
- ・自治会活動の一環である為、自治会会員が参加する団体であれば、受け入れてもよい。
- ・自治会地域内に在住の人が望ましい。
- ・商店街会員の若い世代。
- ・近隣の高校生徒。
- ・子ども会(親子会)の会員に卒業後も参加してほしい。
- ・地区内の他団体(婦人部・子ども会等)

地域・学校の行事等の一環として参加してほしい。

- ・一つの地域住民活動の一環として、年間行事の中に取り入れた形で参加してほしい。
- ・教育機関(小学校、中学校、高校、大学)等に社会貢献、学習の場として参加してほしい。
- ・児童クラブの課外活動の一環として参加してほしい。

信頼できる団体や機関等から紹介された個人・団体

- ・大学の教育機関の紹介であれば受け入れる。
- ・信頼できる機関や団体の紹介であれば、受け入れを検討しても良い。

その他

- ・植物や森に興味関心のある方。
- ・土曜日か日曜日に参加できる方。
- ・実際に公園を利用している若い世代に自主的に参加してほしい。
- ・ボランティア活動に従事している方、経験のある方が望ましい。
- ・チャレンジ・スクールのボランティア活動のメンバーの方。

- ・若い世代の受け入れに関し、特に条件は設けず、積極的に参加してほしいという意見が多く見られた。
- ・自治会や地域にゆかりのある若い世代など、あくまで「地域」としてのつながりを大切にしたいというような意見も多く見られた。
- ・その他、関係機関や団体からの紹介など、範囲を限定し、若い世代の参加を期待する意見も見られた。

問9 街美化アダプト制度の問題点や今後の課題

主な意見

団体・活動メンバーに関する課題・負担等

- ・メンバーの高齢化が進み、活動の継続に不安がある。
- ・子ども会で活動しているが、少子化で会員数が少ない。
- ・決まったメンバーのみで若い人がいない。
- ・休日に行くと人が集まらない。
- ・参加者の「街美化」への意識と、積極性をより高めていくことが課題である。
- ・男性の協力者が少ない。

活動に関する課題

- ・落葉時期のゴミ回収について量が多く大変である。
- ・台風後の大量の枝・葉の掃除。
- ・道路に隣接しているので、安全管理の部分。
- ・草払い機、草狩り機等の器具・道具の保管場所や維持等。

制度についての問題点等

- ・街美化アダプト制度の活動支援費について、活動実績に対応した金額の加算を検討していただきたい。
- ・補助金額をもう少し上げて欲しい。
- ・「アダプト」というネーミングが分かりにくい。市民・住民としてのボランティア活動のため、身近に感じられるネーミングが良いと思う。
- ・制度に関する周知が不足しているように感じる。
- ・活動箇所が複数あるため、アダプト活動申出書の作成、提出が負担となっている。
- ・活動申請書、報告書の簡素化。

その他要望等

- ・若い世代の参加を含め、活動をうまく継続されている団体の事例があったらフィードバックしてほしい。
- ・夏の時期（8月頃）は、業者等に美化活動を支援してほしい。
- ・年1回程度は、植木剪定や植樹の手入れ、清掃を業者へ依頼し、市として対応して欲しい。
- ・公園の手入れ等について、アドバイスがあれば積極的にご意見をいただきたい。
- ・担当課と一緒に現地確認をしていただきたい。
- ・事務局が地域のまちづくりセンターや公民館等にあると関わりが持ちやすい。
- ・全市的な運動として、ゴミ持ち帰り運動を広めてほしい。
- ・大きな木の枝等は住民では出来ないなので、市に対応をお願いしたい。

- ・団体メンバーの高齢化が進み、活動の継続性に不安を感じている意見が見られた。
- ・補助金額の見直しを求める意見のほか、活動実績に応じた補助金の支給を要望する意見もあった。
- ・その他、他の団体の活動の事例等を情報として共有し、自身の団体の活動に活かしたいといった声もあった。